

2022.4.9

ニリンソウ自生地 保護活動情報

赤塚公園ニリンソウを守る会
akatsukanironso@gmail.com

都立赤塚公園
サービスセンター
03-3938-5715

編集責任：運営サポート／木村

Since 1982 ニリンソウ保護活動 40周年

赤塚公園ニリンソウを守る会 活動予定

◆2022 年のニリンソウ月間◆

4/17 (日) までです

◎月間中の土・日 10:00~12:00 大門にてガイド

◎春の野草観察会 月間中の毎月曜日 9:00~12:00
赤塚ため池公園梅林下に集合⇒赤塚城址⇒大門地区

※問合せは左記赤塚公園サービスセンターへ

※いずれも雨天中止 * 予定変更の場合あり

お待たせしました ニリンソウ満開！

ヤマブキソウも咲き始め
ニリンソウの林は春爛漫

4/3 のニリンソウ観察 Day は雨で寒くて、例年なら満開のはずのニリンソウはまだ八分咲き。日が当たらないので花も開かず、どうなるのかと心配でした。それから1週間。やっと満開になりました。

自生地中ほどのヤマブキソウも咲き始め、4月中旬には白と黄色の咲き分けがニリンソウの斜面を彩ることでしょう。

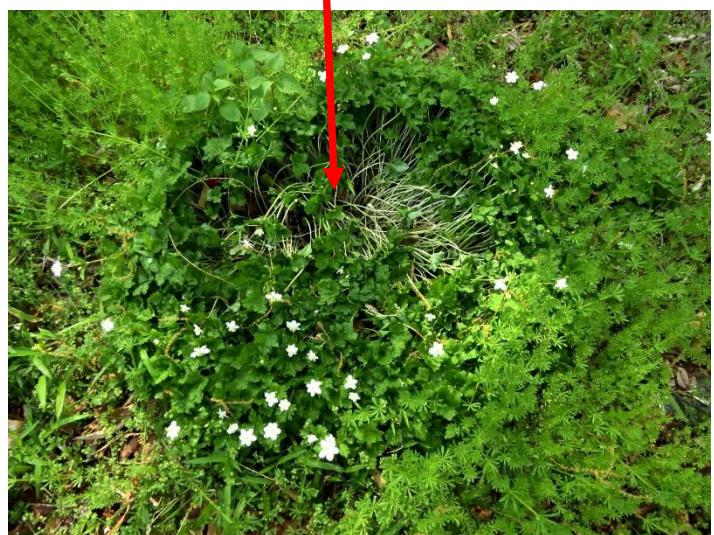


来訪者の数も
増えて 4/3 は
10:00~12:00
の間 216 人、
13:00~15:00
の間 174 人の
方がいらっしゃいました。
お迎えしたガ



イドは赤塚公園サービスセンタースタッフのほか
に、ボランティア9人でした。満開期は約2週間。ヤマブキソウは4月いっぱい見頃です。

1日の中でこんなに激しい変化

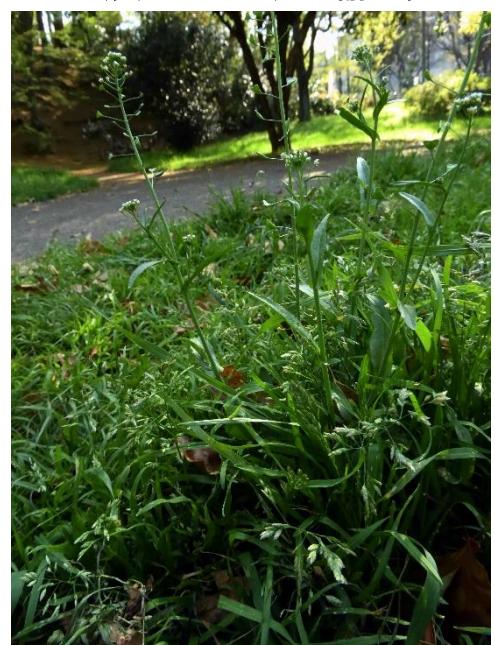


大門地区東端の広場の奥に花のご案内などをしている大きな掲示板がありますが、その付近の擬木柵の下にニリンソウの小さなかたまりがあります。こちらからいらっしゃるお客様が最初に出会うので「ウエルカム・ニリンソウ」と呼んでいますが、4/2は上の写真のようにまだ2輪しか咲いていなかったのが4/9はたくさん花を付けました（右上）。これが10：00頃の様子。それが午後になると、右下写真のように早くも根倒れが始まっています。普通は満開期を過ぎて4月の下旬に起こる現象。毎日の気温の激しい上下変化が植物の成長に影響を及ぼしているのかもしれません。

この林と草原に生きるすべての生き物を大切にするのが

「ニリンソウを守る会」の目的です

左の写真はオドリコソウ（青の円内）とヒメオドリコソウ（黄色の円内）の揃い咲き。白い円内にはクサイチゴが咲いています。右の写真は「雑草」として扱われているスズメノカタビラとナズナ。



植物ばかりでなく、そこに寄ってくる昆虫などの動物も含めて、すべての生き物は互いに支え合って（相互依存して）生きているので、一つひとつの生命を大事にしようというの

が、この林と草原を管理するうえでの基本的な考え方です。
ご理解とご協力をお願いいたします。